

第 49 回 議会改革推進特別委員会

令和 7 年 5 月 13 日 (火)
13 時 30 分 ~ 時 分
第 2 委 員 会 室

- 【委 員】 牛尾委員長、西田副委員長
三浦委員、村武委員、小川委員、布施委員、佐々木委員、田畑委員
【議長団・委員外議員】
【事務局】 下間局長、濱見書記、小寺書記
-

議題

- 1 文書質問について
 - (1) 議長への報告内容確認 (第 11 回報告)
- 2 市への要望・提言等に対する対応状況の検証について
 - (1) 素案の確認
- 3 行政視察について
 - (1) 視察先の検討
 - ア 広島県三次市 (任期中の議会・議員活動検証方法の構築、牛尾委員長)
 - イ 岡山県総社市 (事務事業評価、佐々木委員)
- 4 その他
 - (1) 議会改革度調査 2024 の結果分析

議会改革に関する検討結果

第 11 回報告書

令和 7 年 5 月

議会改革推進特別委員会

令和 7 年 5 月 13 日

浜田市議会議長 笹 田 卓 様

議会改革推進特別委員会
委員長 牛 尾 昭

議会改革に関する検討結果について（第 11 回報告）

当委員会で定めました議会改革の検討項目のうち、検討が終了した事項について下記のとおり結果を報告します。

記

【検討項目】文書質問について

議員が議長を経由して、市長に対して文書により質問を行い、回答を求める文書質問について、以下の理由から浜田市議会における現時点での導入は見送ることとした。

- 1 浜田市議会では通年会期制を採用していることから、閉会期間は存在せず、常に議会として活動している。特に 3 常任委員会では所管事務調査を積極的に行っていることから委員会が活発に開催されており、また全員協議会も適宜開催されていることから、各議員が必要に応じて質疑や質問を行える状況にあるため。
- 2 年 4 回の定例会議において、毎回多くの議員が個人一般質問を行っており（令和 6 年度の個人一般質問平均通告率は約 88%）、議員が質問の機会を十分に活用している状況にあるため。
- 3 令和 4 年度から委員会代表質問を導入しており、議員（委員）は常任委員会における自主的な調査研究を踏まえ、委員会での意思統一が図られた事項について、より専門的な視点を生かした質問を行える状況にあるため。

以上

第1 検証の目的

議会による提案等について、その実施状況等を事後的に検証する手法を構築することにより、その実効性を高めること及び社会情勢の変化等に即したものとすることを目的とします。

第2 議会の提案等とは

議会の提案等とは、以下に掲げるものとします。なお、必要に応じて項目の見直しを行います。

- 1 委員会提案条例及び議員提案条例
- 2 議会または委員会による政策提言等
- 3 委員会代表質問
- 4 議会が採択した請願及び委員会が採択した陳情

(参考1) 浜田市議会におけるこれまでの条例制定実績

分類	条例名	制定年月	所管委員会
執行部による 執行が前提と なる条例	浜田市市政に係る重要な事項の議決等に関する条例	平成19年9月	議会運営委員会
	浜田市地産地消推進条例	平成21年3月	産業建設委員会
	浜田市中心小企業・小規模企業振興基本条例	平成29年10月	産業建設委員会
	浜田市地酒で乾杯条例	平成29年10月	産業建設委員会
	浜田市認知症の人にやさしいまちづくり条例	令和元年9月	福祉環境委員会
議会の内部的 事項を定めた 条例	浜田市議会政務活動費の交付に関する条例	平成17年10月	議会運営委員会
	浜田市議会議員政治倫理条例	平成20年6月	議会運営委員会
	浜田市議会基本条例	平成23年9月	議会運営委員会
	浜田市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例	平成25年9月	議会運営委員会
	浜田市議会の会期等に関する条例	平成30年12月	議会運営委員会
	浜田市議会個人情報保護に関する条例	令和5年3月	議会運営委員会
	浜田市議会議員の請負の状況の公表に関する条例	令和5年9月	議会運営委員会

(参考2) 浜田市議会が直近5年間に実施した提言等の実績

提言等の概要	提言時期	所管委員会
農林地の維持管理対策、耕作放棄・鳥獣被害防止対策について 【中山間地域振興特別委員会】	令和2年9月	産業建設委員会
行財政改革にかかる申入れ 【自治区制度等行財政改革推進特別委員会】	令和2年9月	総務文教委員会
子育て支援策に関する要望書	令和3年2月	福祉環境委員会
こどもの可能性を育む幼児教育について	令和3年5月	総務文教委員会
中山間地における安全・安心対策について 【中山間地域振興特別委員会】	令和3年5月	産業建設委員会
浜田漁港周辺エリアの活性化に関する提言	令和3年7月	産業建設委員会
行財政改革にかかる申入れ 【自治区制度等行財政改革推進特別委員会】	令和3年8月	総務文教委員会
子育て支援策に関する要望書	令和3年9月	福祉環境委員会
多様性社会の推進について	令和4年11月	総務文教委員会
不登校児童生徒への支援について	令和5年9月	総務文教委員会
産業関係における問題・課題解決についての建議書	令和5年10月	産業建設委員会
就労支援を含めた障がい者支援について 重層的支援体制整備事業の取組について	令和5年10月	福祉環境委員会
協働のまちづくりについて 【協働のまちづくり推進特別委員会】	令和6年2月	総務文教委員会
持続可能な医療体制の構築と健康寿命の延伸について	令和7年3月	福祉環境委員会

(参考3) 浜田市議会がこれまでに実施した委員会代表質問の実績

質問項目(大項目)	質問時期	委員会
1 障がい者支援について	令和5年3月	福祉環境委員会
1 「道の駅」ゆうひパーク浜田の今後について		産業建設委員会
1 就労支援を含めた障がい者支援について	令和5年6月	福祉環境委員会
1 浜田市の現状と将来を見据えた一次産業のあり方について		産業建設委員会
1 誰ひとり取り残さない支援体制の充実について	令和5年9月	福祉環境委員会
1 ポスト・コロナ時代の支援策について		産業建設委員会

※どのようなやり方で検証をしていくか要協議

◆議会改革度調査 2024 浜田市議会の結果分析

地域課題解決や未来創造の具体的な成果や変化が求められるようになった現在、この調査も議会内部の活動に留まらず、いわゆる地域を経営する活動に議会活動がどの程度コミットしているかを住民から問われていると考え、昨年までの設問、設計、配点が改められた。

今回、上位に並んだ議会の多くが、**議会内部の活動に留まらず活動を進化（深化）**させており、**上位の議会は、政策立案や議論を深めるための情報収集や議会（事務局）がおこなう議事録の作成や要約、資料作成等に生成 AI を積極的に活用している**ことも明らかとなった。

1. 今回の調査の観点

地域経営の観点から議会が果たすべき役割として 3 つの柱で数値化し、ランキング化。

1. **政策力の強化**（新しい技術も活用しながら、政策形成・政策提言を議会として行う）
2. **主権者の参画**（主権者である住民の意見を政策に反映させる仕組みの構築と実践）
3. **議会機能の強化**（二元代表制の一翼を担う機関として、事務局を含めた議会全体の機能の強化）

2. 今回の調査ポイント

調査を開始した 2010 年の頃は『議会がどのような活動を行っているのか』を重点としていたため、様々な活動をしている（チェックがたくさんつく）議会が高得点となり、ランキングでも上位になった。その後、「議会が活動しても、それが地域の課題を解決したり、地域の未来を創造することにつながっていなければ議会は本来の役割を果たしたとは言えないのではないか」という観点に立ち、「**地域経営に貢献する議会活動**」に着目するようになり、毎年配点区分の修正を行ってきた。

【今回の調査において、配点の力点が置かれた事項】

- ①地域の特性を踏まえた上で、議会が「縮小」や「廃止」など、ビルドアンドスクラップの提言を行うこと
- ②マニフェストや戦略・計画に基づいた議会活動を実施すること
- ③検証・評価の仕組みを整え、住民に公表していること
- ④議会内部の改革に留まらず、幅広い人材・組織と連携していること

【配点の力点が置かれた事項に対する浜田市議会の取組】

①地域の特性を踏まえた上で、議会が「縮小」や「廃止」など、ビルドアンドスクラップの提言を行うこと

(浜田市議会の取組内容)

1. 令和6年2月に協働のまちづくり推進特別委員会から「協働のまちづくりの推進について～できる人が、できる時に、できる事を～」の提言書を市長へ提出した。提言内容の「地域協議会のあり方について」の項目において、「**地域協議会の必要性については各地域で確認し、地域協議会のあり方を再検証し、必要に応じて条例改正も検討されたい**」と明記し、縮小や廃止の検討に触れた内容となっている。
2. 令和6年9月に議会による事務事業評価を試行実施し、その際、議会としての評価意見書の内容を決算議案の附帯決議として提案した。

【附帯決議内容】

1. 事業名と事業内容の乖離の改善について
2. 的確な目標設定を踏まえた事業構築の徹底について
→**類似事業を整理し、効率的かつ効果的な事業執行に努められたい**と明記し、回答項目の「類似した業務の統合または効率化を提言した」に該当。

②マニフェストや戦略・計画に基づいた議会活動を実施すること

(浜田市議会の取組内容)

1. マニフェストに関して、議長選挙では本会議場（全員協議会として実施）で所信表明を行い、議員から質疑できることとしている。全員協議会中に実施しているため、ユーチューブ配信も行っている。
2. 計画に基づいた活動に関して、議会改革に関する行程表の作成をしていると回答している。行程表という厳格なものではないが、「検討項目一覧」を作成し(必要に応じて検討項目を更新)、検討項目の優先順位を決めて調査研究を行い、進捗管理をしている。なお、検討後は結果報告を作成し、HPに掲載して市民へも公表している。
3. 常任委員会において取組課題(テーマ)を設定し、調査・研究を行い所管事務調査の充実に努めている。現状把握のための現地視察や関係者との意見交換会等を計画的に実施し、委員会等で自由討議等を実施しながら議論し、執行部に対する提言等につなげている。

③検証・評価の仕組みを整え、住民に公表していること

(浜田市議会の取組内容)

1. 議会基本条例について、平成23年に制定し、令和4年9月に条例の見直しを実施した。条例の目的が達成されているかどうか、条例改正の必要性も含め、各党派から選出した議員で構成したワーキング会議を立ち上げ、条文について協議検討を行い、現状の議会活動や取組にそった見直しを行い、条例改正をした。

2. 議会 BCP について、令和 4 年 12 月に第 1 版を策定し、その後も、社会状況の変化・審議等を継続するための環境整備等の改善を加え改正し、第 3 版まで策定している。策定して終了ではなく、内容の見直しや改良を加え、また毎年、何らかの議会としての防災訓練も実施している。
3. はまだ市民一日議会について、実施後は参加者や傍聴者からのアンケート結果や全議員からの感想や改善点等を出してもらい、全員協議会の場で、「はまだ市民一日議会の振り返り(実施の検証ともいえる)」を行い、次回開催の参考にしている。
4. 議会による事務事業評価の試行について、9 月の決算審査時に試行的に実施し、議員全員が、選出した 3 事業について事務事業評価を行い、その後、議会としての評価意見書を作成した。試行ではあったが、評価意見書の内容が執行部へ要望すべきものであるという結論に至り、結果的に決算議案の附帯決議に盛り込んだ。(執行部は、附帯決議の内容を踏まえ、令和 7 年度当初予算において、事業名称の変更や類似事業を統合)
5. 議会改革取組の実施結果を要約して、わかりやすく 1 ペーパー程度にまとめて作成し、HP に掲載することで市民等へ議会活動の周知を図っている。過去の取組も容易に確認することができ、かつ、取組の検証にもつながっている。
6. 委員会の行政視察について、終了後は委員会において視察レポートを作成し、視察の考察(検証)を行い、全員協議会で委員長等が視察レポートを使って内容を説明する。先進市の良い取組や事例について、全議員と執行部の間で内容を共有し、施策や政策に生かすこととしている。

④議会内部の改革に留まらず、幅広い人材・組織と連携していること **(浜田市議会の取組内容)**

1. 令和 4 年から島根県立大学との連携として、大学との共同研究等を実施したが、令和 6 年は、県立大学生との意見交換会を実施し、若者の率直な意見を伺い、議員各自が議会活動に生かした。
2. 市が島根大学と島根県立大学と連携協力に関する協定を締結しており、協定内容については、議会においても対応できることとしている。
3. 毎年、浜田市議会の議員研修会を開催しており、人権研修や議会運営等に関する研修など、多岐に渡るテーマで開催している。特に人権研修については、毎年開催することとしており、人権同和教育啓発センター指導主事からご教示いただき、議員活動に役立てている。
4. 浜田市立中央図書館との連携では、議員の情報収集力向上及び議会機能の強化につなげるため、中央図書館の団体貸出の制度を活用。年 4 回、必要な本のジャンルを議員に希望調査し、図書館のレファレンス機能を活用して議会図書室に市立図書館蔵書の書籍を配架している。

【その他の浜田市議会の取組】

1. 議会事務局の体制

- ①タブレットや各種アプリの操作、動画の作成などは、全ての事務局職員が対応できるよう、マニュアル化を行い、職員が異動になっても議会力が低下しないよう努めている。
- ②市議会概要を定例会議ごとに更新して作成したり、議会改革取組の実施結果を要約して、わかりやすく1ペーパー程度にまとめて作成したりすることにより、過去の取組を容易に確認することができ、事務局職員の業務把握につながっている。
- ③事務局職員が研修を受講した際は、事務局内会議を開催して研修内容の共有をはかり、人材育成に努めている。

2. 議会の ICT 化、生成 AI の活用

- ①令和6年は、議会としての生成AIの活用の議論を進めてはいないが、議員の中には、Chat GPT の研修を受講したり、一般質問の通告書作成や委員会の所管事務調査等に、いち早く活用したりしている者もいる。事務局職員においても、会議録の作成や各種資料作成に利用している職員もいる。
- ②タブレットの活用としては、資料のペーパーレス化、オンラインによる研修受講や意見交換会の開催、各種連絡事項の伝達手段として活用しており、費用及び時間の効率化が図られている。
- ③アンケート等の実施後は、事務局がデータをグラフ化するなどして可視化に取り組んでいる。

3. はまだ市民一日議会

- ①市民一日議会を毎年開催し、年齢に関わらず参加してもらえていることも評価の一つだが、**実施後の議会の取組と実施による成果（結果）が評価**されていると考える。
- ②実施後に全員協議会で全議員のもと、まず、いただいた要望等に対する対応方法（発言内容の取扱い方法）を協議し、参加者へ回答する。その後、議員が個人一般質問で取り上げた結果や委員会で協議・調査等をした結果・内容を参加者へ回答するという、出された意見に対して、議会としてフィードバックしていることが評価。
- ③開催終了後には次回の開催に生かすため、また、全員協議会で実施の振り返りを行い全議員で共有していることも評価。（検証のひとつとも言える）
- ④執行部が、議会からの意見等を踏まえ事業化し、結果として市民の要望が実現され、主催者の参画につながっていることが評価された。（公園の整備）

4. 広報広聴機能の強化

基本的に議会活動の全てを公開するスタンス。議会の情報、活動、結果を積極的に公開している。開催前に全ての会議資料の公開、開催後に全ての会議の動画配信。

【浜田市議会における特徴的な取組】

●政策力の強化(新しい技術を活用しながら、政策形成・政策提言を議会として行う)

- ・ 会議の情報公開（全ての会議資料の事前公開、会議の録画配信）
- ・ 各議員の議案等に対する賛否及び反対理由の公開
- ・ 読みやすい議会だよりの作成、はまだ議会だよりの mini の作成による議会活動の周知
- ・ 委員会の所管事務調査による政策提言
- ・ 事務事業評価の試行による決算議案の附帯決議
- ・ 議会の ICT 化推進
(タブレット活用によるペーパーレス化、LINE WORKS 活用による情報共有の迅速化)
- ・ ChatGPT の活用
- ・ 議会図書室の整備
(オンライン研修受講のための PC 設置、シェアする本棚、中央図書館との連携)

●主権者の参画(主権者である住民の意見を政策に反映させる仕組みの構築と実践)

- ・ 議会の情報公開による市民参画（会議資料の公開、会議の録画配信）
- ・ 各種意見交換会の実施（地域協議会、関係団体等）
- ・ 議会報告会、地域井戸端会、はまだ市民一日議会の実施
- ・ 議会なんでもメール、ぎかいポスト等の広聴機能の充実
- ・ 小学生による議会傍聴・議会のおはなし
- ・ 主権者教育の取組
(県立大学生によるギカイと語ろう、SNS 講習会、インターンシップ、
高校生との意見交換会、主権者教育先進市の狛江市副市長による議員研修会)

●議会機能の強化(二元代表制の一翼を担う機関として、事務局を含めた議会全体の機能強化)

- ・ 通年会期の導入
- ・ 議会基本条例の見直し
- ・ 委員会代表質問の導入
- ・ 議会 BCP の策定
- ・ オンライン委員会の開催
- ・ 自由討議の実施
- ・ 定期的な議員研修会の実施
- ・ 持続可能な事務局体制構築のための各種マニュアル化と実施（成果）資料作成

議会改革の最終目的は、行政と同じく、住民の福祉の増進(住民の生活の質を向上させ、満足度を高めること)である。このことは、議会だけでできることではなく、行政側の協力があってこそ、実現できることである。今後も議会と行政が、それぞれの役割と使命を十分に果たし、互いに研鑽を重ねながら、市民のための議会改革を行っていく。